

平成 30 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	国際公開臨海実習 III		
実習内容	<p>基礎的な海洋生物学・生態学を既習した学生を対象に、先進的な内容を課題とした発展的かつ分野統合的な実習を国内外の学生が共同で行う。寒流生態系に特徴的な海藻類・海草類を対象として、生理生態学、群集生態学、保全生態学など異なる分野にわたる課題に取り組むことにより、海洋生物学・生態学の最先端の知識を身につけると共に、問題解決型の研究課題への取り組み方を習得する。具体的には、北海道東部沿岸域の厚岸湖・厚岸湾において、船も使ったフィールド調査と室内実験から、海洋生態系におけるアマモ場や海藻場の機能や役割、また、アマモ場における環境変化に伴う動植物相互作用や食物連鎖についての理解を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海藻類の多様性解析 2. アマモ場の生物群集解析 3. グループでの課題研究・成果報告 <p>この実習は英語で行うが、日本語によるサポート有り。国際公開臨海実習 II と合わせて履修することが望ましい。</p>		
実習内容キーワード	アマモ場、海藻類、海草類、沿岸生態系、生物群集、生物多様性、寒流域、野外調査解析		
担当教員氏名・所属・役職名	仲岡雅裕・北方生物圏フィールド科学センター・教授 伊佐田智規・北方生物圏フィールド科学センター・准教授 頼末武史・北方生物圏フィールド科学センター・特任助教 市原健介・北方生物圏フィールド科学センター・特任助教		
協力教員氏名・所属・役職名	Benny K.K. Chan・National Taiwan University・Professor 田中義幸・八戸工業大学・准教授		
対象学生・学年	学部 3～4 年生、 および大学院生	開講期間	7 月 29 日（日）～8 月 4 日（土） （29 日夕方集合、4 日午前解散）
開講大学・施設名	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所		
施設の住所	〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠 1 番地		
電話	0153-52-2056	F a x	0153-52-2042
e-mail	nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp	Web Site	http://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/
交通案内	釧路空港から空港連絡バスで約 45 分、JR 釧路駅下車。釧路駅から JR で厚岸駅まで約 50 分、駅からタクシーで臨海実験所まで 17 分約 2,000 円。JR 厚岸駅からバス（本数少ない）では 15 分「国泰寺」下車、実験所まで徒歩 25 分。札幌（新千歳空港）からは JR で釧路駅まで特急で約 4 時間、高速バスで約 5 時間。		
費用	宿泊費と食費 3 食分、その他雑費を含めて 1 泊あたり約 2,000 円。		
授業科目名	特別実習（国際公開臨海コース III）		
単位数	1	定員数	10
授業料の徴収について	国立大学および協定のある公立私立大学の学生は所定の書式による申請により授業料は不徴収とする。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超えた場合は書類選考を行う。申込〆切 6 月 13 日（水）。定員に満たない場合は追加募集を行う場合もある。また、定員に余裕がある場合は、学部 1、2 年生の受講も受け付ける。		
選抜結果連絡法	本人に郵送（連絡可能者は E-mail）で仮通知。後に理学部から正式通知を郵送。		